

JASDAQ

証券コード:4712



**ADORES**

**41st Interim  
Business Report**

中間株主通信 2007.4.1-2007.9.30

あなたの笑顔のために  
*Create Happiness*



**ADORES**



## アドアーズは オペレーター専業No.1を 目指します。

代表取締役社長 中川 健男

### 当中間期業績について

#### 新経営体制・事業基盤の強化により、 大幅な増収増益が達成できました

株主の皆様におかれましては、平素より当社事業に対し格別なるご理解・ご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。第41期の中間株主通信をお手元にお届けするにあたりまして、私よりご挨拶申し上げます。

当社が属するアミューズメント施設運営業界におきましては、平成18年度の市場規模は7,029億円と、ついに7,000億円の大台を突破致しました。多様化する余暇市場の中で安定した成長を続けております。

一方、資本力を背景にした2極化のトレンドは加速している上、パチンコ業界を中心とした大手企業の外部参入も一部見受けられるなど、競争が激化しつつあります。

このような環境の中、当社はお客様視点に立った市場競争力の確保を重視した拡大成長戦略のもと、アミューズメント専業オペレーターNo.1を目指し、中核事業であるアミューズメント施設運営事業の強

化を中心に取り組んでおります。

当中間期におきましては、既存店舗の強化策を中心に、着実な新店開設など、昨年度からの好調さを維持・加速する営業戦略を実施致しました。またサービス業の原点に立ち返り、お客様第一の施設運営のための徹底した教育・研修もあわせて実施しております。このほか、全社一丸となったコスト削減により、運営の効率化を推進致しました。

経営面に関しましては、スピードと精度を兼ね備えた経営意思決定を実現すべく代表取締役2人体制への移行を果したほか、大規模な自己株式の取得など、機動的な経営戦略・資本政策実現の下地を築きました。

この結果、当中間期における業績は、売上高11,506百万円（前中間会計期間比+19.4%）、経常利益1,357百万円（同+331.0%）、中間純利益647百万円（同+409.6%）と、大幅な増収増益となりました。

このような結果を報告できましたのも、ひとえに株主様やお客様、お取引先の皆様のご協力、ご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

通期の見通しについて

当期純利益前年度対比200%超を実現し、  
更なる成長路線を加速させます

2007年度の業績につきましては、平成19年10月22日付「平成20年3月期中間期業績予想（非連結）及び通期業績予想（非連結）の修正に関するお知らせ」で報告致しましたとおり、すべての利益項目にて上方修正し、前年度対比で増収増益となる予想をしております。

中核事業でありますアミューズメント施設運営事業におきましては、既存店の好調を維持するため、上期に引き続き徹底した教育・研修を行い、顧客満足度の向上を目指します。さらに運営効率化で削減したコスト分を人気マシンの積極導入や店舗リニューアル等への投資に振り向けることで個店自体の魅力を一層高めてまいります。また、マーケットシェア拡大の重要施策である新店計画は期初計画（5ヵ店以上）を達成できる見込であり、来期以降の収益基盤も着々と構築しております。

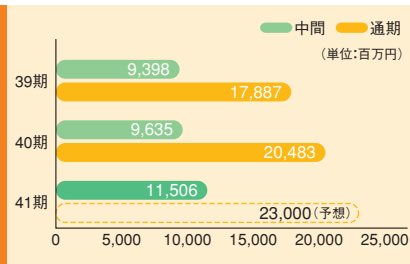
他事業におきましても、業界動向を見据えた営業戦略・債権管理を推進することで、安定した収益確保を見込んでおります。

今期におきましては、各種施設・設計施工事業の下期予定の受注案件が上期に集中したことや、一部新店経費が先送りになったことなどから、上期に比べ下期はやや厳しい業績見込ではありますが、新経営陣および従業員一同、計画達成に向けて邁進してまいります。

■売上高

11,506  
百万円

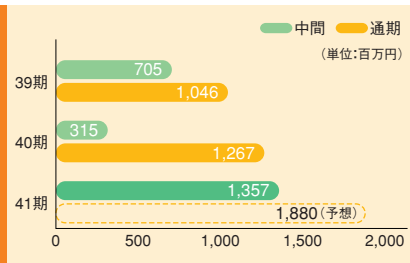
前年同期比  
19.4%  
up



■経常利益

1,357  
百万円

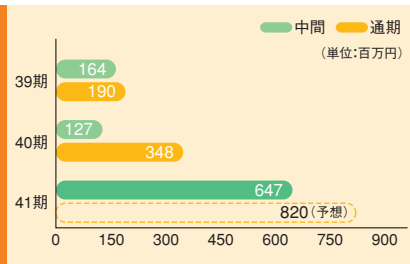
前年同期比  
331.0%  
up



■中間(当期)純利益

647  
百万円

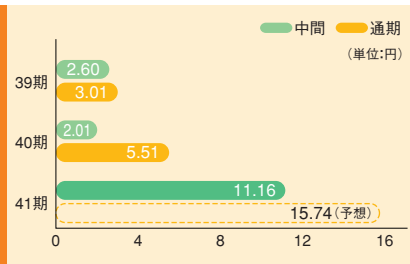
前年同期比  
409.6%  
up



■1株当たり中間(当期)純利益

11円16銭

前年同期比  
455.2%  
up



### 今後の方向性について

『アミューズメント専門オペレーターNo.1』を目指し、  
当社ならではの成長路線を実現します

当社は中長期的な経営戦略として「アミューズメント施設運営事業」およびこれらのノウハウを活かした「各種施設開発・設計施工事業」を強みととらえた「ヒト・モノ・カネを集中させた効率的な経営体制の構築」を掲げております。

この経営戦略実現のためには、中核事業であるアミューズメント施設運営事業での「マーケットシェアの拡大と収益性の向上」による市場競争力の確保が急務であり、「業界で最も競争力のあるオペレーター」をスローガンに、当面は売上と経常利益を重視した拡大・成長戦略を推進し、収益性を伴ったシェアの拡大と業界No.1の運営効率を目指しております。

拡大・成長戦略の柱として年間5ヵ店以上の出店、既存店の強化策の要である徹底した人材育成・教育はもちろん、アミューズメント施設運営とシナジーが期待できる分野とのM&Aや業務提携も積極的に検討しています。

「メダルのシグマ」から進化した「メダルのアドアーズ」として目指すはアミューズメント施設運営専門としてのNo.1。そしてゆくゆくは海外戦略など当社ならではの成長路線を実現していきたいと考えております。



### 株主の皆様へのメッセージ

当中間期は株主の皆様への  
利益還元となる増配・消却を致しました

私たち経営陣は長期的かつ総合的な株主価値の極大化を経営の重要課題と認識しており、今後も当社の経営理念を実践することで、株式市場での評価を高めていくことを基本方針としております。

この方針の下、一株あたりの株式価値向上を図るべく、当中間期では18百万株の自己株式を取得し、内半分にあたる9百万株を消却致しました。配当に關しましては、中間期末は見送りと致しましたが、期末配当につきましては、2.5円から3.0円へ増配することを予定しております。また当該自己株式の取得により、中長期的な経営目標として掲げております株主資本利益率（ROE）10.0%の実現に一歩近づきつつあります。なお、残りの9百万株の自己株式は、M&Aでの株式交換や安定株主構築による経営基盤の強化など、総合的な企業価値増大のために用いる予定です。

今後も更なる成長を実現し、株式時価総額の極大化を目指してまいりますので、引き続きご支援、ご愛顧を賜りますよう宜しくお願い致します。



## 上期新店情報 ～新店計画も順調に進行中～



▲2007年9月8日  
新小岩店 オープン

新規店舗開設に関しましては、5月に『アドアーズ北42条店』、『アドアーズ狸小路店』（以上、北海道初出店）、9月に『アドアーズ新小岩店』の計3ヵ店を開設致しました。北海道2ヵ店は北海道進出の重要拠点として、また新小岩店は当社が最も得意とする首都圏駅前立地を活かした高い集客力で、今後の収益を担う店舗として期待しております。

なお、10月には『アドアーズ川越店』（埼玉県）を開設したほか、今期中には更に2～3店舗の出店がほぼ確定しており、期初に掲げた5ヵ店以上の新店計画は確実に達成できる見込です。



▲2007年5月22日  
北42条店 オープン



▲2007年5月26日  
狸小路店 オープン

## 上期リニューアル情報 ～売上向上だけでなく新規顧客層の獲得など、予想以上の効果～

今期は既存店強化策の重要施策としてリニューアルを推進致しました。上期は5月の『アドアーズ草加店』をはじめ、『アドアーズ和光店』、『アドアーズ川崎店』、『アドアーズ池袋西口店』、『アドアーズサンロード店』、『アドアーズ鶴見店・A館』の6ヵ店を改装し、下期も『アドアーズ荻窪店』、『アドアーズ池袋東口店』と積極的に展開しております。

今後もゲームファンタジア系列を中心に、アドアーズブランドへの転換を図りながら、各店の市場競争力を向上させて参ります。



▲2007年7月14日  
池袋西口店 リニューアル



▲2007年7月20日  
川崎店 リニューアル



▲2007年9月1日  
サンロード店 リニューアル



▲2007年9月23日  
鶴見店・A館 リニューアル

### アミューズメント施設運営事業

売上高 **9,511** 百万円 (前年同期比 17.6%増)

(事業別)

営業利益 **1,620** 百万円 (前年同期比183.2%増)

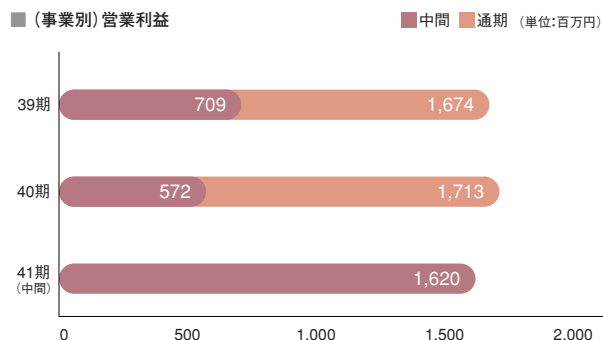
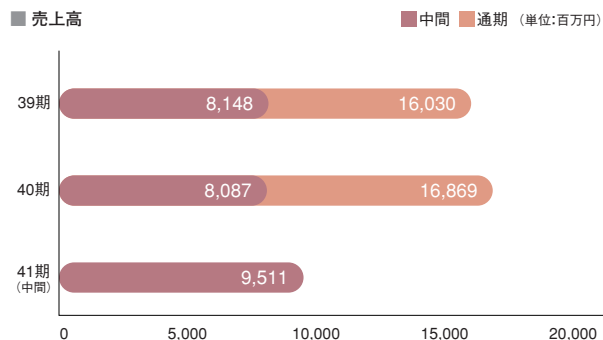
※(事業別) 営業利益とは間接部門費等の控除前利益を指しております。

中核事業でありますアミューズメント施設運営事業におきましては、「業界で最も競争力のあるオペレーター」をスロガンに、既存店の積極的なマシン投資や、店舗リニューアル、新店開設等のハード面での強化に取り組みました。

また、アルバイト社員にまでわたる徹底した教育・研修、更にはマーケットや季節特性にあわせた各種施策など、ソフト面での強化を重点的に実施した結果、既存店に関しましては、昨年同期より続いている前年度売上対比100%超の回復基調を維持するなど、安定した営業基盤を構築しつつあります。

収益面におきましては、既存店の売上好調であることに加え、昨年度より全社一丸となって取り組んでおります効率的な組織運営によるコスト削減が予想以上に進んでいること、一部新店開設費用が下期計上になることなどから、営業利益ベースでも増益を確保致しました。なお、中間期末における直営店舗は67店舗となります。

以上の結果、当事業全体の売上高9,511百万円（前年同期比17.6%増）、(事業別) 営業利益1,620百万円（同183.2%増）となりました。



▲ オープン初日から大盛況のアドアーズ新小岩店

## 各種施設開発・設計・施工事業

売上高 **1,257**百万円(前年同期比 50.4%増)  
 (事業別)  
 営業利益 **43**百万円(前年同期比 65.4%増)

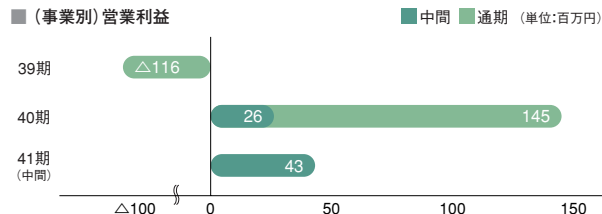
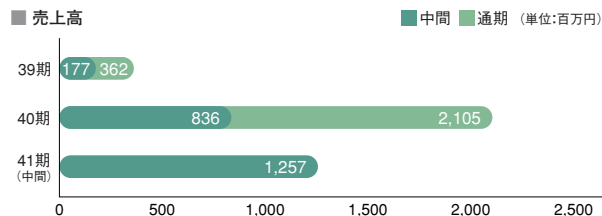
※(事業別) 営業利益とは間接部門費等の控除前利益を指しております。

当社の強みである設計・デザイン力を活かした営業活動により大型ホールの内外装案件を複数受注した他、各種アミューズメント施設への施工案件を受注することが出来ました。

以上の結果、売上高1,257百万円(前年同期比50.4%増)、(事業別) 営業利益43百万円(同65.4%増)となりました。



▲当社施工物件



## パチスロ機・周辺機器レンタル事業、不動産事業

売上高 **737**百万円(前年同期比 3.7%増)  
 (事業別)  
 営業利益 **52**百万円(前年同期比 33.3%増)

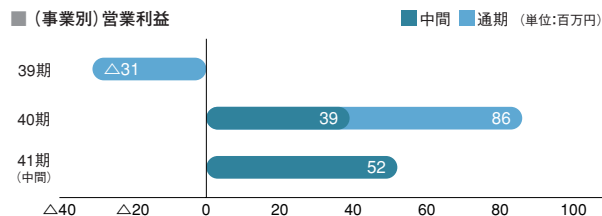
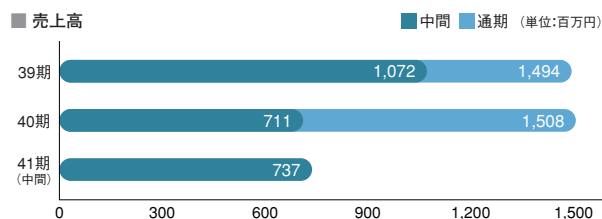
※(事業別) 営業利益とは間接部門費等の控除前利益を指しております。

パチスロ機・周辺機器レンタル事業におきましては、債権管理体制の強化により概ね安定した収益を確保し、売上高483百万円(前年同期比6.0%減)、(事業別) 営業利益40百万円(同2.4%減)となりました。

不動産事業におきましても、概ね計画通り推移し、売上高254百万円(同30.3%増)、(事業別) 営業利益12百万円となりました。



▲パチスロ機・周辺機器レンタル事業



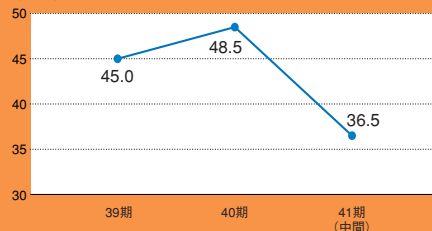
## 財務健全性

### ●株主資本比率

### 36.5%

株主資本比率は自己株式取得による影響もあり、12.0ポイント減少し36.5%となりました。有利子負債に関しましても、上記自己株式の取得費用に加え、マシン投資や新規開設費用などにより、13,776百万円と増加しております。機動的な資本政策実現のため、財務健全性は一時的に悪化致しましたが、成長路線を加速することで財務基盤の改善を推進致します。

(単位:%)



## ■中間貸借対照表

(単位:百万円)

科目	第41期中間 2007年9月30日現在	第40期中間 2006年9月30日現在
<b>●資産の部</b>		
流動資産	8,509	10,695
固定資産	20,669	20,272
資産合計	29,178	30,967
<b>●負債の部</b>		
流動負債	8,080	8,557
固定負債	10,458	8,677
負債合計	18,538	17,235
<b>●純資産の部</b>		
株主資本	10,633	13,721
資本金	4,000	4,000
資本剰余金	5,855	5,855
利益剰余金	2,826	4,014
自己株式	△2,049	△149
評価・換算差額等	7	11
純資産合計	10,640	13,732
負債、純資産合計	29,178	30,967

注：掲載した財務諸表は、主要な項目を表示しています。また、全て単位未満を切り捨てて表示しています。

## ■ 中間損益計算書

(単位:百万円)

科目	第41期中間	第40期中間
	2007年4月1日から 2007年9月30日まで	2006年4月1日から 2006年9月30日まで
売上高	11,506	9,635
売上原価	8,722	7,961
販売費及び一般管理費	1,433	1,359
営業利益	1,350	313
営業外損益	7	1
経常利益	1,357	315
特別損益	△141	△96
中間純利益	647	127

注:掲載した財務諸表は、主要な項目を表示しています。また、全て単位未満を切り捨てて表示しています。

## ■ 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	第41期中間	第40期中間
	2007年4月1日から 2007年9月30日まで	2006年4月1日から 2006年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,784	2,602
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,263	△2,569
財務活動によるキャッシュ・フロー	383	673
現金及び現金同等物の増減額	△95	706
現金及び現金同等物の期首残高	5,969	6,114
現金及び現金同等物の中間期末残高	5,874	6,821

注:掲載した財務諸表は、主要な項目を表示しています。また、全て単位未満を切り捨てて表示しています。

## ■ 中間株主資本等変動計算書 第41期中間 (2007年4月1日から2007年9月30日まで)

(単位:百万円)

	株主資本								評価・換算差額等		純資産合計			
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金		評価・換算 差額等合計		
		資本 準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計	利益 準備金	その他利益剰余金 別途積立金	繰越利益剰余金						利益剰余金 合計	
2007年3月31日 残高	4,000	5,855	0	5,855	85	1,186	2,963	4,235	△149	13,941	8	8	13,950	
中間会計期間中の変動額														
剰余金の配当(※)							△157	△157		△157				△157
中間純利益							647	647		647				647
自己株式の取得									△3,798	△3,798				△3,798
自己株式の消却			△0	△0			△1,898	△1,898	1,899	0				0
自己株式の処分			0	0				0	0	0				0
株主資本以外の項目の中間 会計期間中の変動額(純額)											△1	△1		△1
中間会計期間中の変動額合計	—	—	△0	△0	—	—	△1,408	△1,408	△1,899	△3,308	△1	△1		△3,310
2007年9月30日 残高	4,000	5,855	0	5,855	85	1,186	1,554	2,826	△2,049	10,633	7	7	10,640	

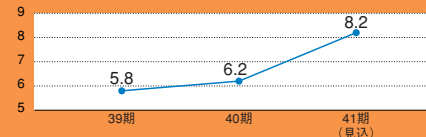
掲載した財務諸表は、主要な項目を表示しています。また、全て単位未満を切り捨てて表示しています。  
(※):2007年6月の定時株主総会における利益処分項目であります。

## 収益性

### ● 売上高経常利益率 8.2% (通期見込)

売上高経常利益率は、既存店の好調な業績や効率的な運営体制の推進が大きく奏功しました。下期は積極的なマシン投資や新店開設費用、リニューアルによる償却費負担は更に増えるものと見込んでおりますが、収益性の向上を目指し、全社一丸となってコスト削減に努めることで、通期8.2%を見込んでおります。

(単位:%)



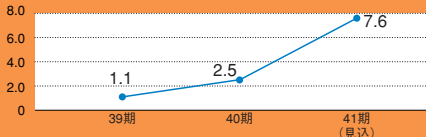
## 効率性

### ● 株主資本当期純利益率 7.6% (通期見込)

株主資本当期純利益率(通期見込)は好調な業績見込に加え、自己株式の取得による効果もあり、前期に比べ5.1ポイント増加し7.6%となる見込です。

中期目標であるROE10.0%に向け、今後も収益性と資本効率を高めて総合的な企業価値の増大を目指します。

(単位:%)



# 会社概要 / 株式の状況 (2007年9月30日現在)

## COMPANY DATA / STOCK INFORMATION

社名 アドアーズ株式会社 (ADORES, Inc.)  
 創業 1964年2月11日  
 設立 1967年12月25日  
 資本金 40億円  
 社員数 354名、臨時従業員603名  
 本社事務所 〒103-0002  
 東京都中央区日本橋馬喰町二丁目1番3号  
 Tel. (03) 5623-1100 (代表)

事業所 海老名事業所：〒243-0415  
 神奈川県海老名市上河内19  
 神奈川トナミ運輸倉庫(株)東名支店倉庫内  
 Tel. (046) 237-3451 (代表)

事業内容 ●遊戯場施設の運営及び運営サポート  
 ●アミューズメント施設の企画、開発及び販売  
 ●アミューズメント施設のデザイン、施工及び監理  
 ●遊戯機器及び遊技機器・部品のレンタル  
 ●遊戯機器及び遊技機器・部品の修理及び保守管理業務

ホームページ <http://www.adores.co.jp/>

### 役員

取締役会長 鈴木 英一  
 代表取締役社長 中川 健男  
 代表取締役専務 八多川 昭一  
 取締役 小泉 基靖  
 取締役 石田 政三  
 取締役 土屋 寛  
 取締役 野本 文之輔  
 常勤監査役 森田 淳  
 監査役 田村 達美  
 監査役 上野 勝  
 監査役 柴山 高一  
 監査役 板谷 嘉之

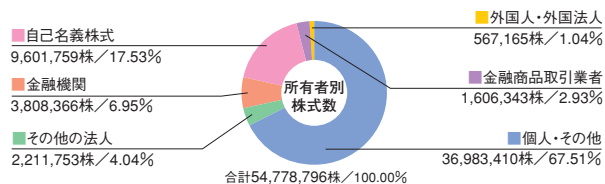
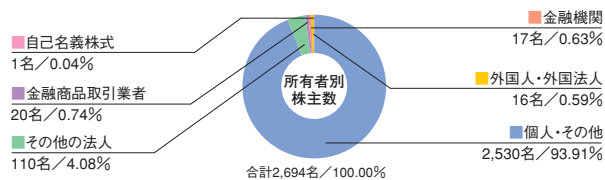
### ■株式の状況

発行可能株式総数 …………… 130,000,000株  
 発行済株式の総数 …………… 54,778,796株  
 株主数 …………… 2,694名 (うち、単元株主数2,166名)

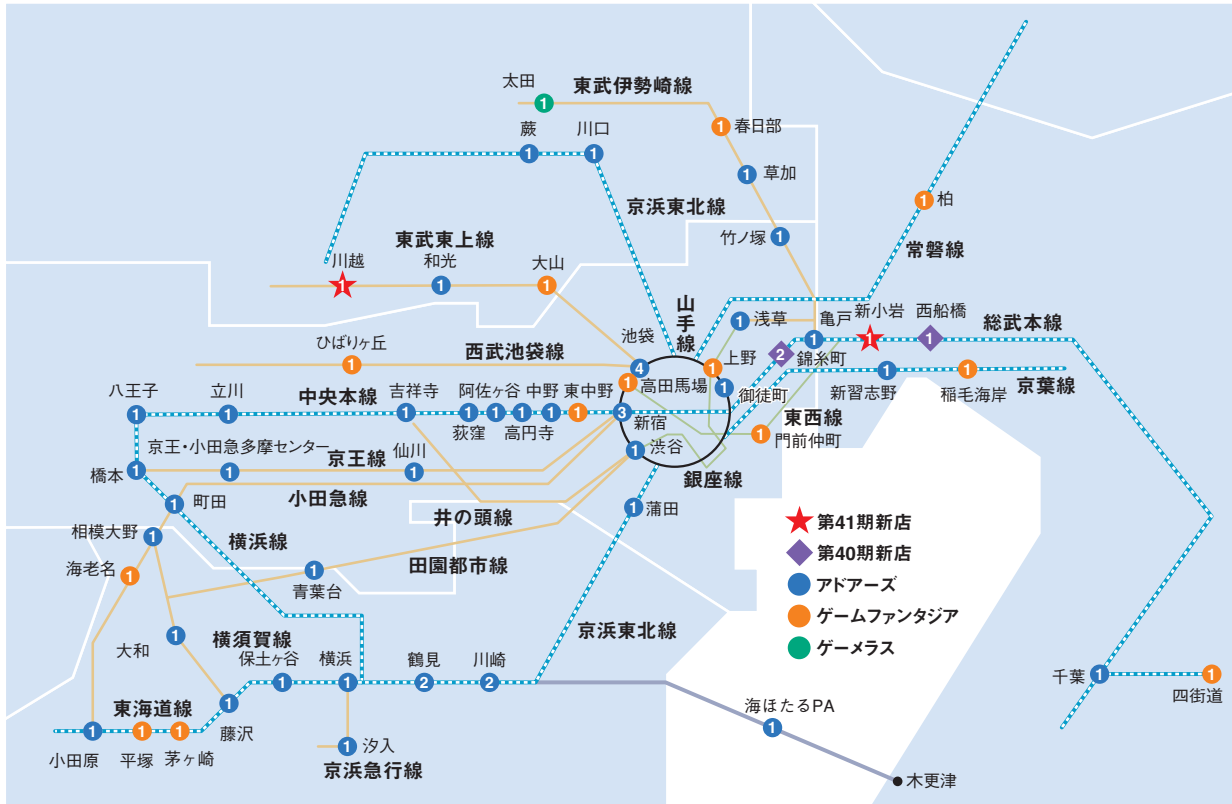
### ●大株主

株主名	当該株主の当社への出資状況	
	持株数(株)	議決権比率(%)
GF投資ファンド投資事業有限責任組合	20,500,000	46.07
日本証券金融株式会社	2,801,000	6.29
鈴木 昭作	2,046,486	4.59
星 久	1,078,924	2.42
庄司 正英	739,000	1.66
株式会社ヤマニ興業	624,460	1.40
岡田 浩明	606,000	1.36
SBIイー・トレード証券株式会社自己融資口	602,000	1.35
アルゼ株式会社	412,000	0.92
北吉 孝一郎	383,000	0.86

注：上記のほか、当社名義の株式が9,601,759株あります。



## ●直営店舗



●大阪



●広島



●青森



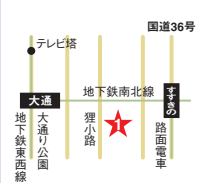
●和歌山



●北海道



●北海道



東京:31、神奈川:17、埼玉:6、千葉:7、群馬:1、大阪:1、広島:1、青森:1、和歌山:1、北海道:2 計68店舗

※中の数字は店舗数を表しています。 ※2007年11月30日現在

## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
(同送付先)	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711 (通話料無料)
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
公告方法	電子公告により当社ホームページ( <a href="http://www.adores.co.jp">http://www.adores.co.jp</a> )に掲載。 ただし、事故・その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は日本経済新聞に掲載致します。

- 株主関係のお手続き用紙のご請求は、次の三菱UFJ信託銀行の電話およびインターネットでも24時間承っております。

電話 (通話料無料) 0120-244-479 (本店証券代行部)  
0120-684-479 (大阪証券代行部)

インターネットホームページ <http://www.tr.mufj.jp/daikou/>  
なお、株券保管振替制度をご利用の株主様は、お取引口座のある証券会社にご照会ください。

- 単元未満株式の買増制度について

当社は「単元未満株式の買増制度」を導入しております。単元未満株式を有する方は、当社に対してその単元未満株式の数と併せて1,000株となる数の単元未満株式を売渡請求することができます。

お手続きなどの詳細につきましては、株主名簿管理人あてにご照会ください。(単元未満株式の買取請求につきましても、従来どおりお取り扱い致しております。)

### コーポレートホームページリニューアルについて

2007年4月より、コーポレートホームページをリニューアルしました。当社ホームページでは、当社の事業内容や、店舗情報、IRニュースなど、当社をご理解いただくための様々な情報を提供しております。

<http://www.adores.co.jp/>



## 株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

 <http://www.e-kabunushi.com>  
アクセスコード 4712

いいかぶ

検索

Yahoo!、MSN、exciteのサイト内にある検索窓に、いいかぶと4文字入れて検索してください。



空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

- アンケート実施期間は、本誌がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を呈呈させていただきます



※本アンケートは、株式会社エーツメディアの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社エーツメディアについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>) ※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

- アンケートのお問い合わせ TEL:03-5777-3900 (平日 10:00~17:30)  
「e-株主リサーチ事務局」 MAIL:info@e-kabunushi.com

## アドアーズ株式会社

ホームページ: <http://www.adores.co.jp/>

本誌に関するお問い合わせは下記までお願いいたします。

経営企画室IR・広報グループ: (03) 5623-1115